

平成28年7月21日

梅雨期に漂着したゴミ、H24九州北部豪雨に次ぐ量!!

～遠賀川河口堰に流れ着いたゴミの分別・処分を行っています～

梅雨期の大雨によって、遠賀川河口堰に大量のゴミが流れ着きました。19日までに、**約3,400m³の陸揚げ作業を行いました。**これは小学校のプール(25m×10m×1m)13.6杯分にあたり、過去10カ年の回収では、**平成24年7月の九州北部豪雨に次ぐ2番目の量になります。**

下流へ流れてきたゴミは草木類の他、ペットボトル、空き缶類等の生活ゴミなど、様々な種類のゴミが混在しています。

※写真の提供可能です。



漂着した冷蔵庫 2台



ペットボトル



空き缶類



廃タイヤ



廃プラスチック

今後、約2ヶ月をかけて、陸揚げしたゴミを手作業にて分別し処分を行う予定です。
遠賀川はみんなの川です。その水は多くの人々の飲み水としても利用されています。
今後も流域内の関係機関や住民団体等と連携し、ゴミ問題に取り組んでいく考えです。

【投げ込み先】 ○北九州地区

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 遠賀川河川事務所

管理課長 房前 和朋 (遠賀川河川事務所) TEL 0949-22-1830

河口堰管理支所長 吉永 勝彦 (河口堰管理支所) TEL 093-201-1675



九州地方整備局では、一般の方が見学できる現場見学会情報「今見てほしい九州の土木」をHPで公開しています。
<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-torikumi/kyushu-doboku/index>

(参考資料)

○近年のゴミ回収量

- ・遠賀川河口堰は、水巻町と芦屋町にまたがる九州で最大(長さ517m)の可動堰です。
- ・遠賀川の最下流に位置する河口堰には、大雨が降って洪水になる度に遠賀川流域のゴミが大量に流れ着きます。その量は洪水の規模や回数に左右されますが、過去10カ年の河口堰で回収したゴミの量は下表のとおりです。

年度	回収したゴミの量
平成19年度	1,340m ³
平成20年度	2,300m ³
平成21年度	2,800m ³
平成22年度	2,100m ³
平成23年度	1,200m ³
平成24年度	4,800m ³ 九州北部豪雨
平成25年度	2,300m ³
平成26年度	3,400m ³
平成27年度	800m ³
平成28年度	3,400m ³ (7月19日現在)

○塵芥回収方法

- ・フェンスで囲ったゴミを岸の方へ引き寄せ、バックホウで陸揚げした後に、可燃物・不燃物等に分別する作業を行います。



手作業による分別作業状況



分別した生活ごみの一部

○塵芥捕捉施設の設置

- ・平成25年3月に、遠賀川河口堰の上流250m付近に、長さ203mの塵芥捕捉施設(網場)を設置しました。
- ・運用開始後の平成25～27年度は、全体回収量の約7割を塵芥捕捉施設にて回収しました。
- ・今年度も、2,400m³(7割)の塵芥を塵芥捕捉施設にて回収しています。